

RSK OB 高谷 昇

この度、ベトナムとカンボジアを旅行しました。2013年10月18日～24日までの7日間です。写真中心に旅行記をアップいたします。

第1日目

10時30分関空→空路5時間で ハノイ(ベトナム)へ 時差は-2時間です。

ハノイ市内観光 ・ ホーチミン廟 ・ 一柱寺 ・ ホアンキエム湖 ・ 文廟(ベトナム最古の大学跡)



(ハノイ市内・・・オートバイばかり Honda はオートバイの代名詞)



(ホーチミン廟)



(一柱寺)

(文廟・ベトナム最古の大学)

観光後 ハロン湾へバスで230km

21時ごろ到着し

—ハロン湾に宿泊—

第2日目

8時00分ホテル発→世界遺産 ハロン湾クルーズへ

- ・水上生活者の村 ・鍾乳洞 ・ティトップ島 展望台へ400段
- ・昼食は船上で新鮮な魚介類を使ったクルージングランチを食す



カニ、10米ドル

貝、3米ドル

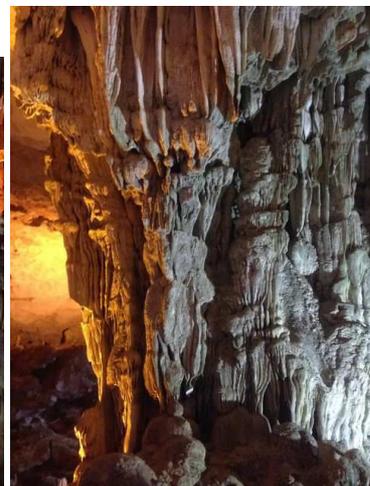
シャコ、3米ドル



にわとり岩



鍾乳洞





バイクの3人乗り、2人乗りは常識、信号がないので歩行者の横断は命懸けである。伝統芸能の水上人形劇を鑑賞した。夕食はベトナム北部料理である。ハノイビールは3米ドルで日本のものと同じ味であった。夜はマッサージに出かけた。いかがわしいものではない。25米ドルと格安である。

— ハロン湾 泊 —

### 第3日目

7時30分ホテル発→バッチャン村で陶器製作を見学、昼食はベトナム郷土料理



(陶器製作)

(ホーチミン、天皇陛下、オバマ大統領、肖像画) (カンボジアのビール)



刺繍の絵画 製作販売

夫婦と子供3人の5人乗りバイク

製作している人は障害者が多い。手先が大変器用である。

ハノイ空港からカンボジアのジェムリアップ空港へ

夕食はカンボジアのクメール料理です。デザートはカンボジア名物スイーツ・・・かぼちゃプリンです。美味しいです。

—カンボジアのシェムリアップ 泊—

## 第4日目

8時00分ホテル発→世界遺産アンコール トム観光

アンコール遺跡群観光 ・タ・プロム寺院 タ・ケウ 見学

アンコール ワット観光 途中アンコールクッキー店で土産品の買い物



アンコール ワット

戦争でかなりの遺跡が破壊されている。フランス、日本、スイスなどのODAなどで何処の遺跡も修復を進めている。しかし新しく修復した所はやはり見応えがない。



(古典舞踊「アプサラダンス」鑑賞)

(バイク タクシー運転手がハンモックで昼寝)



(ゴミ箱を漁る貧しい兄弟)

(木の祠でニコリ)

(熱帯の木の根)

(池の鏡に映る景色)

—シェムリアップ 泊—

### 第5日目

早朝に朝日に映えるアンコール ワット鑑賞

アンコール遺跡群観光・・・バンテアイ・スレイ

スラスラン

プラサットクラバン



(夕食の魚を釣る男)

18時20分シエムリアップ発→空路ホーチミンへ

ホーチミンでサイゴン蟹付きの夕食—デザートにベトナム名物スイーツ  
チェ(ベトナム風ぜんざい) を賞味する。

—ホーチミン 泊—

### 第6日目

8時00分ホテル発→ミトー観光

メコン川クルーズ・・船内でココナッツジュースのサービス

中州のタイソン島に上陸し 果樹園観光とフルーツ試食



メコン川クルーズ

ベトナム美人と昼食の魚



ミニ ジャングル クルーズ

その後ホーチミン市内観光・・統一会堂 サイゴン大教会

中央郵便局

ベトナム市場



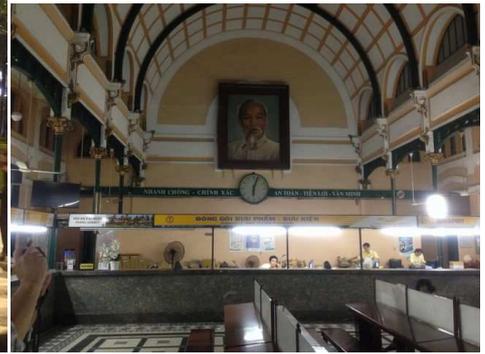
ベトナム市場



統一会堂(旧 大統領府)



サイゴン大教会の新郎新婦



中央郵便局のホーチミン写真



傷痕軍人たち



農村の高床式住居



小児科病院の予防注射待ちの子供達

## 第7日目

00時10分ホーチミン発→7時20分関空到着

リムジンバスで12時30分岡山到着

ベトナムやカンボジアは南部は3期作、中部は2期作、北部は1期作、で稲作をしている。稲刈りをしてはいたが、鎌で手作業である。牛で耕作している。日本の4～50年前の生活である。車も富豪が持てるだけ、バイクも日本製は12万円ぐらい、中国製は2万円ぐらいだが、3ヵ月もすれば壊れて修理が必要。それでもお金がない人は中国製。もっとお金がない人は自転車、もっとない人は歩く。貧富の差は年々大きくなる。ホーチミン空港で日本の縫製工場に出稼ぎに行く20代女性50人に会ったが、月給7万円～10万円とのことだ。でも、ベトナム人にとっては高給取りだそう。食べ物は日本人には美味しい。ヨーロッパ料理より、アジア人だからか味も馴染む。スクールにも偶然バスの中、市場の中、レストランの中と屋根付きの時に遭遇し天気にはついてた。以上楽しいベトナムとカンボジアの旅をしました。ありがとうございました。

2013・10・25・RSK OB 高谷 昇 Noboru Takaya 記